

市議会だより



平成21年度 一般会計補正予算や 藤枝市病院事業会計補正予算など

16議案を承認・可決



クールビズ & 国文祭PRシャツ着用



水防訓練見学



“ふるさと給食週間” 中部給食センターにて給食体験

主な内容

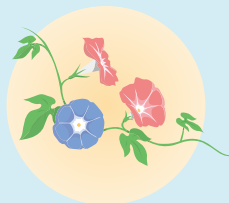
(ページ)

- 一般質問……………2
- 本会議での討論……………11
- 議員発議等……………12
- 会派名と構成……………12
- 5月臨時会人事案件……………13
- 永年勤続表彰・9月定例会日程……………13
- 政務調査費……………14
- 用語説明……………14

6月定例会

市議会6月定例会は、6月2日から6月25日までの24日間の会期で開催いたしました。平成21年度の一般会計補正予算など16議案が上程され、いずれも原案のとおり可決・承認されました。また、議員による発議案「国直轄事業の負担金に係る意見書」も、原案のとおり可決いたしました。

なお、一般質問は6月11日・12日・15日の3日間で行われました。



一般質問



遠藤 孝議員

藤和会

安心・安全な街づくりについて

問 B・V・I 藤枝付近に徘徊する少年について。

答 連日、担当課職員が青少年補導員と共に防犯パトロールを実施、今後は青島地区の自治会や防犯活動団体と連携した防犯街づくり推進協議会の設立準備を進め、併せて防犯カメラ設置については早期設置に向け検討中。

問 中学生の徘徊が目立つが教育委員会の対応は。

答 少年サポートセンターが中核的な役割を果たしているが、憂慮すべき問題として地域の各種団体と学校、PTAが連携し共通の考えで対処する。

問 壮年会や消防団、協力雇用主会など防犯に協力する企業との連携は。

答 企業へは総合評価落札方式の社会性、信頼性の項目にて評価の加点をを行う方法と、再犯防止に保護観察者の就職は非常に

に大切であると認識。

問 通学路、歩道整備は。

答 合併後の危険な歩道と通学路は83箇所あり、6件の整備を予定し、町内会からの要望件数は760件あるが、歩道設置工事を含め22件を予定している。



通学風景

問 駅周辺の少年犯罪の多発問題と警察と連携した暴力団対策を伺う。

答 警察署と密接な情報交換を図り、専門職員が青少年の非行防止や健全育成を図るため初期段階で必要な助言や立ち直り支援を図っている。

病院経営について

問 当直医師の過重労働を避ける労務管理を伺う。

答 奈良地方裁判所の当直医師の時間外勤務手当

の支給を命じた判決は、まだ確立されていないが過重労働問題は深刻な課題である。

問 今後の病院連携は。

答 各病院個別の課題があり、考え方は様々だが地域の医療環境確保に向け、県主導の再編ネットワーク化を要請中。

問 若手職員による改革・改善プロジェクトは。

答 現場を担う若手職員の提言は貴重であり、新鮮なアイデアを期待する。

行財政改革について

問 過年度の未収金総額と病院など徴収一元化は。

答 概算未収金は30億8千600万円であり、過年度の病院を含む未収金の徴収一元化に向け債権回収対策会議を立ち上げた。

問 簡素で効率的な行財政システムとは。

答 庁内会議の見直し、NPM研修の実施、戦略的広報の展開、調整監による政策調整、各部の経営方針の作成など改革を実践中である。



植田 裕明議員

藤友会

自治体公営会計（財務諸表）について

問 自治体の財政状況を明らかにするため、貸借対照表、行政コスト計算書など、財務諸表4表の公表が義務づけられ、本市では、19年度決算に基づいて作成したが、どのように分析しているか。

答 貸借対照表における資産と負債の割合や社会資本形成の世代間比率の数字、行政コスト計算書の市民一人当たりの行政コストなど、かなり良好な数字と認識している。

問 正確性は高いが、作成が困難とされる「基準モデル」と、比較的簡易な「総務省方式改訂モデル」とがあり、本市は、あえて基準モデルを、他の市町に先駆け、作成したが、その相違は？

答 基準モデルは、民間企業会計の考え方と会計実務を基に、資産、税収や移転収支など自治体の

特殊性を加味し、資産負債管理や予算編成への活用等、公営会計に期待される機能を目的としている。開始貸借対照表を固定資産台帳に基づき作成し、現金取引情報に止まらず、ストックフロー情報を公正価値で把握した上、個々の情報を発生主義により、複式記帳する。

問 地元産業の振興や雇用促進という面からも、アグリビジネスといわれる大手企業の農業関連への進出が目立つところから、農業振興に関わる企業を誘致してはどうか。

答 農業振興地域の土地利用は関係法令によって制限されるが、本市の特産であるお茶などと関連させた企業立地の推進などは、地域農業の振興に加え、雇用拡大や定住化促進など、地域振興を図る上で有益と考えられる。

問 一般法人の農業参入を認める農地法の大規模改正など、国の動向に対する本市の取り組みは？

答 農地法改正案では、一般の法人でも一定の要件を満たせば農地の賃貸借が可能となる。一般法人の農業参入は、地元農作物の増産などによる食料自給率の向上や耕作放棄地の解消につながるなどが期待でき、その効果は大きいものと考えられる。



農業振興地域の田園風景

ふじえだ市議会だより



天野 正孝議員

市民クラブ

中心市街地以外の商店街再活性化について

問 やる気のある商店街づくりについて伺う。

答 市民活動団体との協働や連携を深めながらより効果のある商店街活動が展開されるよう支援していく。また、「商店街施策評価検討委員会」の意見を参考に現状に即したソフト面の支援策についても取り組んでいく。

問 景観を含めた商店街の環境づくり支援と市としての協働の方向性について伺う。

答 中でも上伝馬商店街では老朽化したアーケードの撤去を視野に統一的景観整備も含め検討がなされている。

他市事例紹介や先進地調査や国県補助制度など活用できる支援策提案など関係機関と連携しながら支援していく。

問 地産地消や住居地と

しての商店街への市の今後の施策の展開について伺う。

答 商店街の取り組みを支援するとともに関係機関と連携し、優良事例の紹介やセミナー等開催し支援していく。

農業振興策について

問 転作奨励などの農業所得保障施策を今日までのように調査・研究してきたのか伺う。

答 本市では、国奨励金に加え振興作物11種類を指定し、上乗せ補助を実施して特産物の振興と農家の経営安定に努めている。

問 新規就農者への支援窓口の現状及び定住化に対する具体的事業展開について伺う。

答 本年5月、農林課内に農業協OBによる



下敷田モデル事業

教育環境の整備について

問 国の新経済対策で、教育環境の整備に関する予算が盛り込まれた。その中で「エコ改修」として小中学校校舎への「太陽光パネル」の設置が掲げられている。市の取り組みについて伺う。

答 校舎については耐震補強改修工事を優先し、その後、順次計画を策定し設置していきたい。

問 同じく「校庭の芝生化」も「エコ改修」の中に盛り込まれているが、今後の予定を伺う。

答 NPO法人VITの協力を得て、現在小学校5校で校庭の一部が芝生化された。今後も引き続きNPO法人のご協力をいただきながら実施していきたい。

問 校内LANや電子黒板など情報通信技術の教育現場への活用も課題である。現状と今後の取り



大石 保幸議員

公明党

組みについて伺う。

答 校内LANは既に全小中学校に整備された。電子黒板・デジタルテレビは未整備で、今後、国の補助事業を活用し整備に努めていく。

健康支援・がん対策について

問 映画「余命1ヶ月の花嫁」が上映されたが、3人に1人はがんで亡くなる時代となった。早期発見のためには「がん検診」が大切だ。受診率向上への取り組みを伺う。

答 広報活動と共に個人にはがん検診の登録を推奨している。特に国民健康保険加入者には特定健診と同時に大腸・肺・前立腺がん検診が実施できるようにし、胃・子宮・乳がん検診については登録案内を同封している。

問 毎年9月は「がん征圧月間」だが、今年度の取り組みについて伺う。

答 毎年広報で特集を組

一般質問



杉山 猛志議員

藤和会

人の命を守る為の地域防災計画を進めるに当たり課題と方向性について

緊急輸送道路の整備促進の考え方を伺う。

橋梁長寿命化修繕計画の策定を本年度着手。15m以上の93橋と重要路線の2m以上の1千222橋はH23年度までに点検を完了させ、H24年度には修繕計画を策定する。

耐震性貯水槽の整備状況を伺う。

駅南公園に規模100t、1基、1人3ℓの3日分で1万人分。今後は瀬戸川以北の市街地の設置も考える。

効率の良いヘリポート地と今後の予定を伺う。

総合運動公園、市立総合病院等19箇所を指定。負傷者の搬送は市立病院、物資搬入は市民グラウンド、自衛隊の活動は総合運動公園、大井川河川敷、岡部は避難所と重複する為調整する。

各家庭での備蓄の啓蒙啓発を伺う。

非常食7日分と救急医薬品、保険証のコピーを必要に応じて備蓄する。

病院、避難所対策の観点を伺う。

医療本部は保健センター。救護所12箇所ですりアージを実施し、手術が必要な患者は救護病院2箇所に搬送する。避難所は41箇所。

在宅介護者の避難所での受入について伺う。

発災直後のサバイバル期(72時間)は、救出・救助を最優先。家族がいらない要介護者は、他の家族が面倒を見る。避難所で生活が困難な場合は、受入準備が整った時点で施設に移る。

災害時の介護力と各地域の状況を伺う。

人材不足が予想される介護力は、地域差があるので「要援護者班」を設置する。福祉避難所を開設し、介護施設と協定を締結し、受入を要請する。

介護支援者として、大学生の活用を伺う。

有効な手段であり積極的に活用を検討。

防災台帳作成が作り易い体制について伺う。

登録を希望しない方へ自発的に登録する様に啓発する。台帳の整備は民生委員と自治協力委員会にお願した。

消防団活動の活性化対策を伺う。

消防団活動に職場の理解、消防団の処遇等の活動し易い環境の整備。

消防団退団後の活用を伺う。

応急手当普及員資格者は42人。資格喪失の退団者に再受講による資格継続を呼びかける。



住民による救出作業(阪神・淡路大震災)

(校内放送・学校新聞・集会等)を設けてはどうか?

意見発表をしたりすることは、学習効果を高めるのに重要であり、校長会などで話したい。

平成10年より自殺が3万人を超えている。昨年の市の自殺者は30人。市の自殺対策の状況を伺う。

健康推進課が担当し、精神保健の視点から施策を進めている。本年度は、市民を対象に28ヶ所で、保健委員活動重点事業として「ストレスと上手に付き合うための極意」をねらった保健講座を実施する。また、うつ病等の早期発見、早期治療、適正な治療継続の理解を深めるため精神保健啓発講習会を行う。さらに、生活と健康に関する相談ができる

場を併せて検討していく。



健康手帳 役立てよう



小柳津 治男議員

藤和会

市長就任2年目を迎えての観想について

「元気なまち藤枝」をキャッチフレーズにしているが、実際が見えてこない。どの様になっているか伺う。

「元気なまち藤枝」を実現させるため、特に子どもが笑顔になる施策などを重点化して、21年度予算を編成した。この予算に基づき事業が4月から実施され始め、着実に第一歩を踏み出したという段階にあると考えている。

藤枝型NPM(新公共経営)について

藤枝型NPMをどの様に市民に周知・理解させていくのか伺う。

市政の現状と改革の取り組みについて、知ってもらい、ご協力をいただくことが重要である。このため、各部に広報監を設置し、積極的に市民にお知らせする戦略的広

報の展開を進めている。

藤枝市行政経営改革ガイドライン」をはじめとした藤枝型NPMの考え方や概要を、市民の集いや市民対象の講座等あらゆる機会を捉えて、繰り返しお知らせしていく。

新東名アクセス道路周辺の整備と焼却場建設について

アクセス道路の今後の整備予定について伺う。

高田地区の県道静岡朝比奈藤枝線から仮宿地区の国道1号バイパス広幡インターまでは、平成22年10月末までに概ねの道路形態を築造し、その後、舗装工事を発注する予定。国道1号バイパスで、広幡インターから内谷インターまでの区間は、10月頃から橋桁の架橋に着手し、平成22年8月末までに完了する予定。全体としては、平成24年中に全ての工事を完了する予定である。

焼却場予定地周辺の道路整備について伺う。

道路整備は今後の土地利用との整合性を図りながら、より効果的な整備が必要であると考え、地元の皆様のご意見や地域交通への影響等を踏まえ検討していく。

潮インター付近の工事に伴う通学路及び生活道路の安全確保について伺う。

国土交通省と協議を行ない、極力、通学路や生活道路を工事車両が通行しないように、また、やむなく通行する場合には、歩行者等の安全に十分配慮するように要請している。周辺の学校等には工事車両の通行経路等を説明し、児童、生徒にも注意してもらおうようお願いしていく。



その後3年間で工事を完了する予定である。市有地は、公用公共施設用地として位置付けしたが、今後は民間施設も含めて、土地の活用を検討していく。

青木南北線と国道1号交差点の右折のネックの橋梁拡幅への対応。

安全な右折には、信号機と右折レーンの設置が重要なポイントになる。公安委員会との協議に併せ、国・県など関係機関に働きかけていく。



青木南北線と国道一号線の交差点

南新屋地区の整備方針・計画と取り組み。

街なか居住ゾーン、補助商業ゾーンと位置付け、大規模商業施設を可能とする地区計画の手法で、施設の整備と住環境の保全を図っていく。

ふじえだ市議会だより

ふじえだ市議会だより

市民の健康(けんこう)



志村 富子議員

会派に属さない議員

保健指導の必要性

平成20年度より、特定健康診査が義務づけられた。国民健康保険事業では、平成24年度の受診目標が65%である。この目標への取り組みを伺う。

制度発足から1年、市の受診率は46・7%。周知については、改善の余地がある。今までの実施方法、PR方法を基本に置き、ふれあいまつり等の各種イベントや行事でのPR、出前講座や広報・啓発用パンフレットの活用、国保連との連携による積極的なPRをしていく。

受診率65%が達成できない場合、国のペナルティがあるか? 国は、平成25年度後期高齢者に対する支援金に、土10%の加算減算を考えているが、具体策は未定である。

特定保健指導の実施

保健指導の必要性

情報提供が1万5000人余、動機づけ支援が約千人、積極的支援が約300人に区分し実施した。次年度に悪化しないよう、継続支援していく。支援の職員体制は保健師6人、管理栄養士4人である。

乳がん・子宮がんの受診状況と受診率向上の対策を伺う。

登録制で実施しており、昨年の登録人口は乳がんが対象者の58%、子宮がんが53%。受診券に、啓発のため「わたしのからだカレンダー」を同封した。予定日に受診しなかった場合は、再度通知した。今年度は、41歳、61歳を対象に、検診を網羅した「検診の耳寄りな情報」を郵送した。

喫煙の害については、学校でも児童・生徒が意欲的に、前向きに調べて、意見発表をしたりする場

一般質問

一般質問



白井 郁夫議員

藤和会

市民のスポーツと健康について

スポーツ振興課の業務は何か伺う。

答 スポーツ振興担当は、生涯スポーツ・競技スポーツの振興についての各種事業や活動の支援、社会体育諸団体の育成等。スポーツ施設担当は、指定管理者の連絡調整、小中学校の体育施設利用に関する事、施設の修繕が主な業務である。

各組織との協力体制はどうか伺う。

答 体協へは市から助成、体育指導委員は、スポーツ振興課主管のもと、大会企画・運営・普及など、生涯スポーツの推進。スポーツクラブは、地域が主体で自立運営への支援。自治会は、体育指導委員の推薦を頂き、交付金の活用により、地域でのスポーツ振興。指定管理者は、市民サービス向上のための指導・監督をして

いる。

スポーツ施設の耐震工事の計画を伺う。

答 第四次藤枝市総合計画に基づき、勤労者体育館・市民グラウンド・市民体育館を平成23年度に工事実施を予定。

スポーツ振興課が中心となっているイベントを伺う。

答 全国PK選手権大会、ふじえだマラソン、リパティ駅伝大会、スポーツ健康フェスタで、実行委員会を組織し、事務局を担っている。

高齢者に対する健康維持、健康づくりの施策を伺う。

答 介護福祉課は、健康づくり事業で、ゲートボール大会、輪投げ、グラウンドゴルフ大会を実施、介護予防事業として、体操教室、プール事業、はつらつシニア大学を開催。健康推進課では、ふれあいサロン、寿大学、

出前講座で転倒予防講座を実施。



大井川河川敷スポーツ広場グラウンドゴルフ場

子どもたちのスポーツ人口はどうか伺う。

答 20年度実績で、スポーツ加入者2千218人で市内全児童数の約27%。中学校の部活では、2千981人で、全生徒数の約75%が何らかのスポーツに親しんでいる。

二桁な藤枝を目指すにあたり、何に力を注ぐのか伺う。

答 競技スポーツの振興では、選手や指導者の育成、大会への支援。生涯スポーツでは、年齢や体力、技量、障害の有無に関らず、生涯にわたり健康で活力のある生活を築きつけかけをつくるための施策。イベントは、それぞれを盛り上げるものとして、必要である。



牧田 五郎議員

公明党

経済危機対策とわがまちの取り組みについて

緊急雇用創出事業について、本市にはどれだけの交付金が行われているか。今後の計画についても伺う。

答 11事業16人が県から認められた。事業費は2千400万円である。今後も雇用創出に向け、業務を掘り起こしていく。

緊急保証制度の本市の認定状況は。

答 昨年度670件、今年5月末で146件で、本制度が中小企業の経営安定に寄与している。

定額給付金等本市の取り組み状況について。

答 定額給付金は他市に先駆けて受付を開始し、5月末までに94%。子育て応援特別手当は94%の給付率となっている。プレミアム商品券も総額1億1千500万円発行し、3日間で完売した。

各種臨時交付金も約2億8千万円で6事業に取り組んでいる。



元気藤枝とくたく券販売風景

道路財源が一般財源化された交付金や経済危機対策臨時交付金について本市の取り組みを伺う。

答 志太中央幹線や区画整理事業に取り組んでいる。来年度以降は、各地域の課題に応じて計画を策定し、国に提出していく。

経済危機対策臨時交付金は、当市は5億2千800万円と試算され、地球温暖化対策など4項目に対

し交付される。本市もその趣旨を踏まえ取り組み。6月下旬に実施計画を提出し、内閣府の審査を経て具体化していく。

わがまちのグリーンニューディールについて

6月の環境月間と7月7日のクールアースデイの取り組みについて。

答 広報ふじえだ6月5日号に特集記事を掲載し、市民への啓発を図っている。また市職員の全家庭で燃やすごみの量をその都度計り、ごみのダイエットに取り組む。一般家庭でも4千300世帯で取り組む。クールアースデイについては夜8時から10時までの2時間、本庁と病院以外の出先機関で一斉消灯する。

地球温暖化対策推進法の改正を受けての本市の取り組みについて。

答 法改正の趣旨を踏まえ、市役所だけでなく、市内の事業所や市民にも積極的に協力していただく内容を盛り込んだ第3期実施計画策定に取り組んでいく。

ふじえだ市議会だより



岡村 好男議員

市民クラブ

藤枝市新公共経営の進捗について

市職場のモチベーションアップと戦略的広報について伺う。

答 本市の主要事業やユニークな取り組みは、新聞やテレビ等の報道機関に積極的に情報提供し、取り上げてもらっている。市政報道で自分の仕事を取り上げられることによって、職員のモチベーションアップにつながる。と考える。どんなに良い施策を市が行っても市民が知らなかったら、やっていないことと同じである。市役所の顔が見え、さらに事業に取り組み職員

の活力も上がるような広報を行っていききたい。

パート・非常勤職員の新公共経営の理解向上について伺う。

答 パート・非常勤職員は本市政を構成する大事な人材であり、「元気なまち藤枝」の実現には

不可欠である。今後は正規の職員同様、研修を受けていただく。

スマートIC候補地決定経過について

第1回目の情報提供の段階で候補地が決定されたという疑いが如何か。

答 本年2月中旬に地区協議会でのこれまでの検討状況を地元住民にちらしによって報告すると共に、197通の意見をいただいた。これらの意見を整理した上で客観的な評価を行い、5月25日開催の地区協議会において、接続道路を都市計画道路藤枝駅・吉永線とするA地区(焼津市上新田地先)を候補地と決定した。

A・B・C地区のうちどの候補地の要望が多かったのか伺う。

答 藤枝地区においては、A地区7件、B地区30件、C地区13件の計50件の要望があり、全体ではA地区26件、B地区52件、C

地区36件の計114件の要望があった。



スマートIC候補地

各候補地における事業費はどれほどか伺う。

答 インターチェンジの事業費は、概算でA地区が約40億円、B地区が約60億円、C地区が約50億円である。

B地区を推進する地域から、少し熟慮したらどうかという声があるが如何か。

答 インターチェンジの候補地は、A地区に決定している。地域の皆様からは、決定したならばスピードを上げて進めてほしいという声もあり、市としても事業着手に努力していききたい。



萩原 麻夫議員

藤風会

藤枝市の観光交流基本計画について

本計画における今後の観光交流について伺う。

答 本計画は平成19年度から5カ年計画とし「藤枝は楽しい」をテーマに、「住む人、来る人の双方に満足感を与えることができるまちづくり」を基本理念とし、ソフト施策を重視した計画で花観光・スポーツ交流・文化や歴史資源など本市の観光特性を活かした施策を進める。

蓮華寺池公園の今後の取り組みについて伺う。

答 「花と水と鳥」のコンセプトのもと「日本一の藤の里づくり」の拠点公園として位置づけられ施設整備では、今年度はジャンボ滑り台の改修を計画している。

瀬戸谷温泉や白ふじの里、玉露の里などの観光スポットを回遊するネットワークの拠点施設として整備していく。

名所旧跡や観光施設の

ネットワーク化について伺う。

答 「ぶらり藤枝街角散策マップ」を作成し、各施設をつなぐ周遊コースの推奨や施設間の共通入場券や割引券をさらに拡大し、岡部地区で展開している「まちの駅」を他地区へも拡充し「街角の休み処」として、おもてなし機能の強化とネットワーク化を図る。

富士山静岡空港開港に伴う近隣市町との連携について伺う。

答 空港周辺の7市2町で組織する「富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会」に加入し、広域的なルート設定と対外的な魅力度を高める必要がある。本年度は仁川(インチョン)世界都市祝典への共同出展や国内就航先の福岡・札幌・小松空港での誘客キャンペーンを予定している。

白ふじの里の開設に伴う今後の期待と課題は。

葉梨西北地域が中山間



日本一の龍勢

一般質問



山内 弘之議員

藤友会

地域分権化の実施
取り組みについて

問 地域において自己責任と自己決定の観点から住民自治が重視されると、地方自治法に地域自治区の設定が規定された。市長の権限事務を分掌させ、地域住民の意見を反映させつつ、これを処理させることが条例で定めることができる。

答 この制度を積極的に実施するよう求める。

問 地方分権において地域づくりに向けて重要なことと認識している。条例化は地域住民等と検討していく中で、住民意識の高揚を図っていく。

市職員の一層の
充実策について

問 特徴ある施策市を視察して共通して強く感じたことは、その担当管理職のやる気、実行力で先頭に立って仕事に取り組んでいることだ。そこで、職員がよい発



調整手当が地域手当
改正後の支給状況

問 平成19年3月の総務省事務次官通知は「支給地域に該当していない地域において、地域手当を支給している団体にある」とある。

問 本市の人事院規則での級地は何級か。支給率は、無支給地の指定である。

問 無支給地なのに、何を根拠に支給しているのか。

答 平成18年2月市議会、給与条例改正案の中で地域手当の新設が議決された。

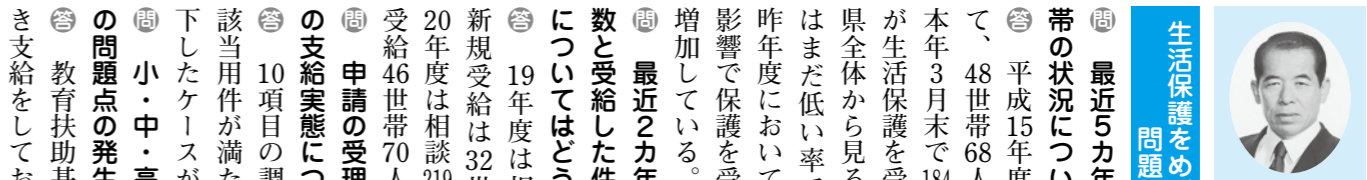
問 現在支給されている支給率はいくつか。

答 4%である。

問 平成20年度の支給総額はいくらか。

答 約2億8千400万円である。従来から給与、手当は国家公務員に準拠を原則としているが、職員組合と協定し支給した。

問 給与条例改正の付則で、支給率の期間は平成22年度末までだ。



池谷 潔議員

市民クラブ

生活保護をめぐる
問題について

問 最近5カ年の保護世帯の状況について。

答 平成15年度と比較して、48世帯68人増加して本年3月末で184世帯264人が生活保護を受けている。県全体から見ると藤枝市はまだ低い率であるが、昨年度においては不況の影響で保護を受ける人が増加している。

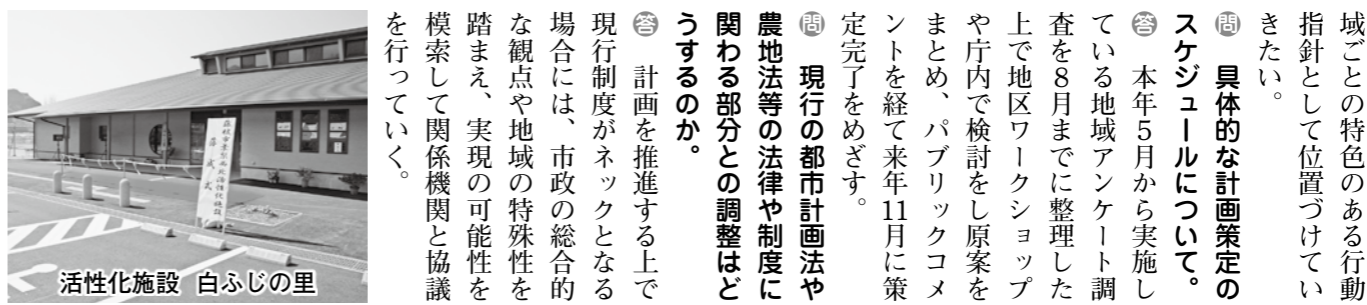
問 最近2カ年の相談件数と受給した件数・人員についてはどうか。

答 19年度は相談134件、新規受給は32世帯45人、20年度は相談219件、新規受給46世帯70人である。

問 申請の受理と保護費の支給実態について。

答 10項目の調査を行い該当要件が満たされず却下したケースがある。

問 小・中・高の学校での問題点の発生はどうか。



活性化施設 白ふじの里

問 中山間地域の活性化計画のめざすものについて。

答 中山間地域は農林業事情や人口構造・環境が大きく変化している。地域力を高め都市住民や企業等の外部の力を活用し、地域の再生を図り均衡のとれた元気なまちを創るため、本年から2年間をかけて実効性のある計画を策定する。

問 第5次総合計画との関連や位置づけはどうか。

答 総合計画と並行して作業を進め、計画を踏まえながら画一的でない地域

ふじえだ市議会だより



西原 明美議員

藤和会

藤枝市の電算システム
について

問 現在の藤枝市の電算システムはどのようなものか。

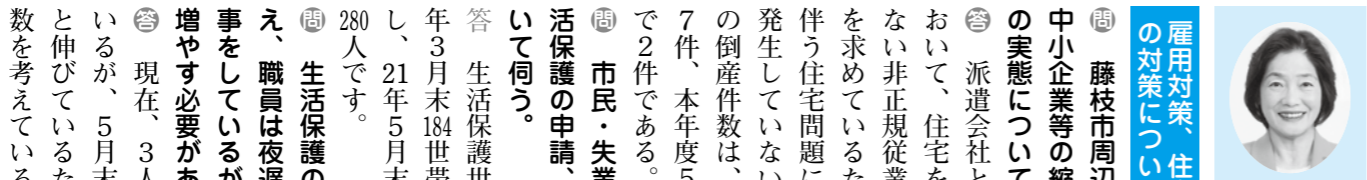
答 ホストコンピュータにおいて、住民情報、税務情報、福祉情報、財務会計など17の基幹業務を処理している。

問 改修費用等、コスト面から考えるとどうか。

答 現在のホストコンピュータは、システムの開発、保守が特定の開発業者になり、競争原理が働かない。オープンシステムに比べ、時間と経費がかかり、見直しの必要がある。

問 県内市の電算システムの動向、又オープンシステム移行に取り組んだ事例はどうか。

答 ホストコンピュータ12市、オープンシステム11市。最近の動向としては、コスト見直し、新たなIT技術による住民



山田 敏江議員

日本共産党

雇用対策、住宅支援等
の対策について

問 藤枝市周辺の大企業、中小企業等の縮小、倒産の実態について伺う。

答 派遣会社との契約において、住宅を必要としない非正規従業員の派遣を求めているため失職に伴う住宅問題については発生していない。藤枝市の倒産件数は、昨年度が7件、本年度5月末現在で2件である。

問 市民・失業者等の生活保護の申請、実態について伺う。

答 生活保護世帯は、21年3月末184世帯264人に対し、21年5月末は201世帯280人です。

問 生活保護の相談が増え、職員は夜遅くまで仕事をしているが、職員を増やす必要があるのでは。

答 現在、3人で行っているが、5月末で26世帯と伸びているため、人員数を考えている。



藤枝パートバンク

問 失業して家賃が払えない、生活が成り立たないことも深刻で、最悪ホームレスにならないように、アパートを格安の値段で借りられるよう支援することが必要。どう考えるか伺う。

答 月1回の社会保険労働者による「労働相談」を実施している。相談に応じて、「中部県民生活センター」「ハローワーク」等を紹介している。

問 住宅のないことが、貧困を招く。市営住宅待機者は50人程いるが、派遣切れ等の失業者の市営住宅の入居を伺う。

答 4戸のうち1戸入居し、3戸空いている。期限は決めていない。

問 シルバー人材センター、障害者施設等での雇用の実態について伺う。

答 シルバー人材センターへの登録は1千127人で80%の方々が働いている。障害者雇用率は1.1%

一般質問



増田 猪佐男議員

藤和会

小川青島線について

問 歩行者・車両ともに交通量の多い小川青島線と志太西線との交差点の安全対策と歩道橋の検討について伺う。



小川青島線交差点

地元商業の振興について

答 同一の交差点には横断歩道と立体交差施設は設置できないため、歩道橋を設置すると現状の横断歩道を廃止しなければならなくなる。

問 定額給付金の支給とあわせ、市商店街連合会とタイアップして発行した「とくとく券」の経済効果と商店街からの評価について伺う。

答 プレミアム商品券「元氣ふじえだとくとく券」については、総額1億1千500万円分のプレミアム付商品券が4月24日から市内11ヶ所で販売され、3日間で完売した。

問 急速な高齢化が進む中、憩いの場、交流拠点などコミュニティの場としての機能の整備や、買い物や日常生活に支障のある高齢者を助ける宅配などのサービスは有効な高齢者施策である。

通学路としては、小川青島線と平行して高架下に設けられている市道を利用しているの、通行の安全は確保されていると認識をしている。

そのため、岡部地区で展開されている「まちの駅」を他地区へも拡充し、高齢者にやさしいまちづくりの観点から「街角の休み処」としての休息機能の充実や、商工会議所とも連携を図りながら、有効な高齢者対策を検討し、取り組んでいく。

ふじえだ市議会だより

一般質問



水野 明議員

藤友会

高齢者の生活を見守る介護保険制度について

問 在宅介護の充実について伺う。

答 国の方針と同様に、在宅介護の充実に施策の重点をおき、取り組んでいる。引き続き良質で充分な在宅サービスが充足されるよう、第四次介護福祉プランに基づき事業者の参入を促進する。

問 特別養護老人ホームの現況と、今後の対応策について伺う。

答 現在の定員は市内6施設で400人。市内外で入所者数402人。待機者数511人である。対応策は、平成23年度中の開設を目標に、特養ホーム1施設100床、ケアハウス1施設50床の施設整備を予定している。

問 介護予防、元氣老人対策として注目されている「ふれあいサロン」の状況について伺う。



いくつになっても笑顔で藤枝

水守土地区画整理事業に関係する都市計画道路について

問 本年3月末現在で39箇所。利用者は年間延べ1万7千756人(1千295人)。ボランティア数は661人(85人)である。

問 認知症家族の会「ほっと会」の活動状況と支援策について伺う。

答 昨年7月、県内2番目の「社団法人認知症の人と家族の会静岡岡部支部藤枝分会」として発足。現在25名の会員で、月1回の定例会や、会報誌の発行など活動の幅を広げている。市として、家族会のPRや加入の勧奨等活動の支援をしていく。

問 三輪立花線の今後の計画について伺う。

答 完成した500m区間と横内三輪土地区画整理区域とつなげることで更に事業効果を高めた。西への延伸は、多くの課題の解決が必要。

問 天王町仮宿線・大覚寺藤岡線・藤岡平島線3路線の区域外延伸の計画について伺う。

答 早期に区域外への延伸は極めて困難であるが、市民生活に密着した生活道路である平島地区とを結ぶ市道4路線の整備を行い、生活の利便性の向上を図る。

問 水守交差点、右折の矢印つき信号機設置について伺う。

答 現在、県警本部において審議中である。

問 志太中央幹線左車地区、中心点測量後の状況と今後の計画について。

答 用地買収幅員について地元説明会を開催し、ご理解をお願いしている。了解が得られた時点で道路設計に移行し、早期の事業化に努める。

一般質問



大石 信生議員

日本共産党

区画整理地における土地の課税について

問 進行中の土地区画整理事業の土地課税は、当市の場合、進捗率が7割に達しないままでは「従前地課税」の方式だ。

答 そのため既に市道や公園になっっている公共用地に保留地を購入し転入してきた住宅の固定資産税・都市計画税を従前の地主が払わされている。

焼津、島田はじめ県下の大勢は、「使用・収益の開始により課税する仮換地課税」方式だ。やり方を変えて、是正措置もとるべきではないか。

答 本市の場合は、一定の町並みが完成し、土地利用が可能な区域について、仮換地の課税を行っており、それは区画整理事業の進捗率が7割程度になったところで「従前地課税」から「仮換地課税」に切り替えている。

区画整理地における土地の課税について

このことは、実態に即して適切な方法を選択したもので、合理的な選択によるものであり、是正する必要はないと考えている。

問 仮換地課税がどういうものか理解していない。驚くべき答だ。

答 既に市道になっていて、非課税であるべき公共用地の税金を、従前の地主が払わされているなど、おかしいではないか。説明がつかないではないか。

問 仮換地課税をした場合、税金が上がる。その為7割の進捗率での切り替えは合理的であり、実態に即して適切に課税していると考ええる。

問 本市の場合、一定の町並みが完成し、土地利用が可能な区域について、仮換地の課税を行っており、それは区画整理事業の進捗率が7割程度になったところで「従前地課税」から「仮換地課税」に切り替えている。

本会議での討論

藤枝市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論

第1に先の2月定例会で60床あった療養病床を34床に削減したばかりで3ヶ月たたないうちに全廃する理由は何か？この療養病床には現在も入院している患者さんがおり、また、ショートステイとして利用している方もいる。

これら患者さんたちを心理的に追い込み、無理やり追い出す、非情な措置と思える。介護保険施設面からも施設不足から療養病床の全廃はすることとは賛成できない。

第2にこれまでまだ完治していないのに退院、転院を迫られるといった嘆きが市民からあげられたが、今回の療養病床廃止によって退院、転院を迫られるのは市民との信頼関係を損なうものであり、市立病院離れを加速させる恐れがある。

答 答弁を変える必要はないと考ええる。

合併後の給与格差問題

問 静岡市など合併後給与格差が解消されていない問題点を多く聞か、当市はどうか。

答 旧岡部町職員個々の給料額を藤枝市の給料表に割り当てた後に、新市における職名に該当する給与額とした。基本的に解消していると考ええる。

狭い県道の拡幅・改良

問 朝比奈線の保育園以北は、未だ計画も出来ていない。どう取り組むか。子どもの通学など、地元の心配に添えてほしい。

答 今後策定する「中山間地活性化基本計画」の中に位置付けていきたいと考ええる。そのためにも、調査・計画も含めた早期の事業着手を、県に要望していきたい。



県道岡部町宮島地先

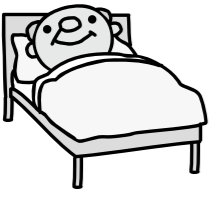
市立病院を取り巻く医療環境の変化に対応可能な組織とするため、生命と健康を守るため、4疾病5事業の医療体制の整備を図りながら急性期医療の拡充をはかるもの。

賛成討論

現在療養病床に入院されている方、ショートステイ利用の患者さんの今後の処遇については誠心誠意接しており、満足のいく処遇をすることを福祉行政という観点から支援いたたくよう配慮を病院当局に求める。市民の安全安心、地域医療を守るため、医師・看護師確保に全力を尽くすことを求め賛成する。

現在志太榛原医療圏内の公立病院において大変憂慮すべき状況が進行しており、当病院においても医師の疲弊は深刻化している。

そこで勤務医、医療従事者が離職し、経営を圧迫する悪循環を回避するため、この条例改正により、医師・看護師の限られた人的資源を有効活用し、医師が急性期病院に集まる傾向から医師に魅力ある病院を示すことにより医師の確保・定着を図る上で有益な施策と考える。



平成21年6月藤枝市議会定例会議案等審査結果

Table with columns for '市長提出議案' and '議員提出議案', listing various municipal ordinances and their voting results.

臨時議会が開かれました

5月市議会臨時会

5月市議会臨時会は、5月14日に開催され、議長、副議長の選挙後、常任委員会及び議会運営委員会...

- List of council members including 議長 内藤 洋介, 副議長 杉村 基次, and various committee members.

特別委員会

藤枝市立総合病院 経営に関する特別委員会

- List of members for the special committee, including 白井 郁夫, 水野 明, 岡崎 匡志.

総合計画特別委員会

- List of members for the comprehensive plan special committee, including 岡崎 匡志, 水野 明, 萩原 麻夫.

市議会広報委員会

- List of members for the municipal public relations committee, including 西原 明美, 天野 正孝, 萩原 麻夫.

可決された 議員発議

議員提出による発議案（意見書1件）が提出され、原案のとおり可決されました。

発議案第37号 「国直轄事業の負担金に係る意見書」

本件は、国及び地方の財政が厳しさを増す中で、負担金の在り方をめぐり議論が地方からも提示され、全国知事会と関係府省との意見交換も行われているところであり、これまでの直轄事業に係る負担金の経費内訳と積算根拠を地方自治体へ情報開示し、国と地方が対等な立場で協議し、地方の意見が反映されるよう、透明性の確保に努めること、また、整備費に係る負担金についても、国と地方の役割分担を明確にして直轄事業の範囲を必要最小限度にするとともに、地方の受益と負担の観点から必要な検討を行い、速やかな直轄事業制度の見直し

藤枝市議会から お知らせ

去る8月1日に藤枝市立総合病院において病院まつりが開催されました。藤枝市議会としても市立病院の活動を応援するため、病院まつりに参加をし、会場にて市民のみなさんに藤枝市立総合病院経営に関する特別委員会の活動、市立病院の現状などを記載した市議会だより・病院編を配布しました。

全国市議会 議長会表彰

去る5月27日の第85回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として市政の発展に尽くされたことに対し、全国市議会議長会表彰規程により、小柳津治男議員、増田猪佐男議員が議員歴15年以上で一般表彰されました。



増田猪佐男 議員



小柳津治男 議員

等の一部を改正する条例が上程され、質疑の後、常任委員会へ付託され採決の結果賛成多数で可決されました。また、議員発議による発議案36号藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例について上程され、採決の結果、原案のとおり可決されました。

市議会の 会派名と構成

平成21年5月の市議会臨時会から、市議会の会派構成は、次のとおりとなりました。
(◎代表者)
藤和会(11名) ◎館 正義、◎内藤 洋介、◎岡崎 匡志、◎池田 博、◎増田猪佐男、◎渡辺 恭男、◎百瀬 潔、◎白井 郁夫、◎遠藤 孝、◎杉山 猛志、◎西原 明美

藤友会(5名)

- ◎小柳津治男、◎山内 弘之、◎水野 明、◎杉村 基次、◎植田 裕明

市民クラブ(4名)

- ◎岡村 好男、◎池谷 潔、◎向島 春江、◎天野 正孝

公明党(2名)

- ◎大石 保幸、◎牧田 五郎

日本共産党(2名)

- ◎大石 信生、◎山田 敏江

藤風会(2名)

- ◎萩崎 幸裕、◎萩原 麻夫

会派に属さない議員(1名)

- ◎志村 富子

※会派とは、藤枝市議会では、2人以上の志を同じくし、議会活動を共にする議員のグループのことをいう。

平成20年度政務調査費は
このように使われました

政務調査費とは、地方自治法の規定に基づき条例で定められており、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として、会派及び会派に属していない議員に対し交付される費用です。

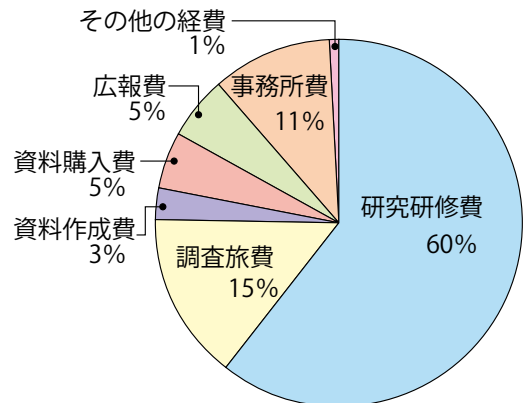
藤枝市議会の政務調査費は1人あたり月額20,000円（年額240,000円）が年度当初に一括して各会派に交付されます。なお、政務調査費の残額は市に返還しています。

●政務調査費交付金

(円)

会派名	収入額①	支出額②	残額①-②
藤和会 (11人)	2,640,000	2,586,618	53,382
藤友会 (5人)	1,200,000	1,118,872	81,128
市民クラブ (4人)	960,000	950,425	9,575
公明党 (2人)	480,000	472,258	7,742
藤風会 (2人)	80,000	80,000	0
日本共産党 (2人)	280,000	233,909	46,091
志村 富子議員	240,000	240,000	0
計	5,880,000	5,682,082	197,918

●政務調査費内訳



※藤風会及び日本共産党は2月1日付け増員選挙により結成されました。
(新たに増員された3名の議員には、月割(40,000円)支給)

議会を傍聴しませんか

議会は、どなたでも傍聴することができます。皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽においでください。

市議会の傍聴は？

本会議の当日、市庁舎5階の議会事務局で受付しています。

【議会事務局】

電話 643-3552

市議会の様子がテレビ生中継

市役所1階ロビーにおいて、議会の様子をテレビ中継しています。

「市民に開かれた行政」を目指し実施しています。市議会が市民にとってより身近に感じていただけたら良いなと思っております。ぜひご覧ください。

市議会のホームページ

現在、ホームページでは、市議会の仕組み、市議会だより、会議録等の掲載をしていますので是非ご覧ください。

なお、検索は市役所のホームページからのアクセスとなります。

用語解説

グリーンニューデール

地球温暖化、世界金融危機、石油資源枯渇に対する一連の政策提言の概要が記載されたグリーンニューデールグループが発表した報告書またはその内容に沿った政策名称。報告書は再生可能エネルギー資源に対する積極的な財政出動等提言している。正式名称は

「信用危機・気候変動・原油価格高騰の3大危機を解決するための政策集」。

4疾病5事業

平成20年度を初年度とする医療費適正化計画により4疾病5事業の医療体制の整備を図る。4疾病とはがん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病。5事業とは小児救急医療、周産期医療、救急医療、災害医療、へき地医療のこと。

9月市議会定例会

9月市議会定例会は、9月2日から9月29日までの28日間の会期で開かれる予定です。

9月2日 本会議1日目

9月10日 議案上程

9月11日 本会議2日目

9月11日 議案質疑・一般質問

9月14日 本会議3日目

9月14日 一般質問

9月16日 本会議4日目

9月16日 一般質問

9月17日 常任委員会

9月29日 常任委員会

9月29日 本会議5日目

採決

市議会広報委員会

問い合わせ先

藤枝市岡田山1-11-1

議会事務局

電話 643-3111

内線(512)